

研修報告 教育産業常任委員会

沖縄県 中城村議会を研修

なかぐさく

去る2月3・4日(火・水)、教育産業常任委員会は、米軍基地施設が隣接している村の現況や現状を見聞し、(茨城県にも百里基地があるため)今後の参考にするため視察してまいりました。



沖縄県中城村の概要

中城村は、本島中部に位置し、県都那覇市から北東に10km、沖繩市からは9km、面積は15・46km²となります。

西は宜野湾市、南は西原町、北は北中城村に隣接しています。

世界文化遺産の中城跡をはじめ、長い海岸線や琉球大学の立地、特徴的な地域特性もあり、企業誘致等による増収の確保と、行財政改革を行い、行政・議会・村民が一体となり自立に向けた個性的で活力ある村づくりを目指しています。

沖縄の米軍専用施設

① 隣接する普天間飛行場の現状
周辺の学校、住宅、病院など密集地帯では、騒音被害や航空機事故の危険性など、住民生活に深刻な影響を及ぼす。

② 中城村への影響

昼夜を問わず村の上空を通過し、騒音と墜落の危険性にさらされている。

③ 中城村内の米軍基地施設

米軍施設「キャンプ九場崎」が所在し、戦時中は本土への疎開のための引揚者の収容施設として利用。昭和56年3月31日全面返還

中城村は毎日騒音や墜落の危険にさらされ、大変苦勞している様子が伺えました。視察中も飛行機やオスプレイ(ヘリコプター)が普天間基地から騒音を立て飛行していました。

中城村議会では、沖縄米軍基地関係の発議や決議等を毎年何度となく行っています。

議会が活発にそして、村民の方々も一丸となって、沖縄基地問題に取り組んでいると感じました。

研修報告 総務民生常任委員会

埼玉県 おがわ温泉 花和楽の湯
東京都 東京消防庁 本所防災館を研修

去る2月19・20日(木・金)、総務民生常任委員会は、温泉施設の経営の現況や現状を見聞し、(城里町にもホロルの湯があるため)今後の参考に、また、防災の意識向上を図るため視察してまいりました。



花和楽の湯の概要

花和楽の湯は、民間企業(カワラリゾート株式会社)で行っている温泉施設。

資本金 6000万円
設立 1991年

企業・経営の理念

地域の皆様に健康と安らぎの場を提供し、感動と喜んでいただくことを第一に考え、地域の発展と価値ある豊かな社会を創造する。

カワラリゾートの行動指針

- ・報告・連絡・相談の徹底
- ・衛生管理の徹底
- ・コスト管理の徹底
- ・時間管理の徹底
- ・常に謙虚で素直な気持ち
- ・何時かやるの何時はない。
- ・今日やることは今日やる。
- 等、10項目を掲げている。

東京消防庁 本所防災館の概要

地震体験・煙体験・消火体験・応急手当体験・防災シアター・暴風雨体験・都市型水害コーナー等、体験コーナーを多数設置している。

インストラクターに備えの重要性をわかりやすく説明してもらいながら、冷静な判断力と確実な行動力を養ったりと知識を高めます。

城里町にもホロルの湯があり、指定管理にて運営されています。実際に、運営やお客様への対応、集客方法等、見習うべき所が多々ありました。また、本所防災館では日頃からの防災の意識を高め、緊急時の素早い対応が必要だと強く感じました。

2ヶ所の見聞や体験は町にとっても重要課題であり、今後の施設運営・対策にあたり、大いに参考となる研修でした。

議会の動き

茨城県県北中央町村議会議長会研修会



研修会の様子（内田 聡氏）

2月10日（火）、大洗町にて、茨城県県北中央町村議会議長会の研修会が開催されました。

当日は、75名参加し、講師として茨城大学学長特別補佐の内田 聡様を迎え、「リーマンショックから学ぶ～アベノミクスを念頭に～」の講演が行われました。

町村議会議員自治研究会の開催

2月18日（水）、茨城県市町村会館にて、町村議会議員自治研究会が開催されました。

県内町村議会議員が、約200人が参加し、講師として読売新聞東京本社編集委員の青山彰久氏を迎え、「地方創生と地方自治」の講演が行われました。

引き続き、日本大学法学部教授の岩井奉信氏を迎え、「今後の政局・政治展望」の講演を聞き、研究会を行いました。



研修会の様子

議会を傍聴しましょう！

次回の定例会は6月上旬を予定しております。

傍聴者報告

第1回臨時会（1月26日開催）	11人
第1回定例会（3月10日～20日まで開催）	40人

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。

TEL.029-288-3111（内線302）
<http://www.town.shirosato.lg.jp>